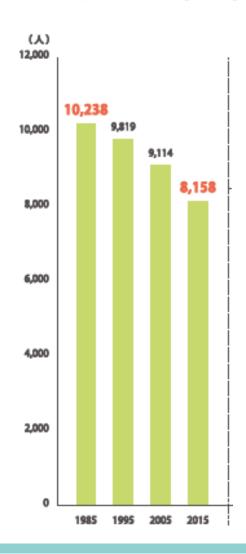


久米島町 移住定住相談窓口 「島ぐらしコンシェルジュ」 令和3年度活動報告

2022年2月17日

発足の経緯





1年で約100人の人口減少



第2次久米島町総合計画

島に人を惹き付ける

「旅したい」「移住したい」「帰ってきたい」人のために

施策40 久米島らしいライフスタイル・ブランドの確立

施策41 情報発信力の強化

施策42 交流文化の推進

施策43 観光の振興

施策44 移住定住促進体制の充実





発足の経緯



移住定住促進の為の情報提供・相談窓口の立ち上げ







- ・情報窓口が点在→挫折
- ・勢いで移住→失敗

- ・HPで情報提供
- ・総合窓口で案内
- →納得した上で移住

地域おこし協力隊の制度を利用して久米島に移住相談窓口を開設!

【地域おこし協力隊】を活用するメリット

- 特別交付税措置で町の負担減
- 協力隊は移住を前提とするので、移住者増
- 移住者の目線で相談対応ができる
- ・協力隊活用地域としての久米島町のPR
- 問題意識をもった人材を確保できる
- I Uターン人材のきっかけにもできる



2021年度現在、5名の島コン卒業生 内、3名が現在も久米島町で活躍中です。



移住定住相談窓口 「島ぐらしコンシェルジュ」



2016年5月発足(6年目)/地域おこし協力隊で運営



【左から順に】 原 久美子(2年目) 千葉県出身

新井 健太(1年目) 埼玉県出身

矢島 守人(3年目) 兵庫県出身

活動内容①島外への情報発信









移住ガイドブックを改訂しました 移住促進団体や全国わしたショップに設置 (ポータルサイトの運営/移住ガイドブックの製作)



移住希望会員登録

久米島移住に関するお知らせをお届けします。

失輩移住者や町民の紹介、仕事の掘り起こしなど、 「移住者も地域も幸せになれる移住」を サポートさせて頂きます。



移住相談対応

(移住フェアへの参加/対面・メール:電話・オンライン相談)

活動内容②コロナ禍での情報発信











その他の活動(空き家活用)





- ・空き家バンクでは、令和2年度から 13件の登録があり、10件が決まり 1件が商談中、掲載残1の状況です。 (2022/2/15現在)
- ・その他、空き家バンクと併走し、 久米島町の空家活用補助金 の相談も多数受け付けました。
- ・2019年10月から現在まで、広報「くめじま」に毎月コラムで空き家活用について啓発しています。

成果

ESTIVELY WE/COME HOME

発足~2022/2/15 (約6年) 711件の移住希望登録



2016年度 21名 2017年度 21名 2018年度 40名 2019年度 25名2020年度 28名2021年度 42名(予定)

大事にしていること

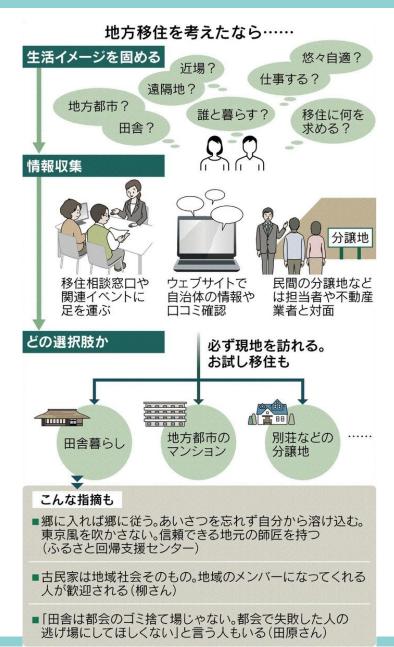
■数年スパンでの移住計画広める × 深める

【横の広がり】→移住を迫らずファンを作る 久米島を十分知ってもらう

- ・移住・交流イベントへの参加
- SNSの登録を募る

【縦の深まり】→段階的な移住推進

- Lv1 興味喚起
- · Lv2 移住希望者会員
- ・Lv3 移住相談(メール、電話、skype、対面etc···)
- Lv4 情報収集
- ・Lv5 下見やお試し移住
- ■移住・定住推進を目的化しない
 - 人口減少は問題ではない
 - 「良い町を後世に繋ぐこと」が目的



2021.10.20日経新聞(夕刊)

移住者の定住率



移住決定者数→177名

<移住のきっかけ> 「のんびりと生活できるところ」、「気候がよいところ」、「自然が豊かな場所」

そのうちの転出者数→29名

<主な転出理由>

- ・利便性 1件(もっとお店が多いところが良い)
- ・子育て2件(発達障害児への対応が難しい、子の離島留学に伴い移住→

離島留学終了に伴い転出)

- ・職場環境 1件 (仕事内容のミスマッチ)
- ・住まい環境 1件(古民家貸し借りのミスマッチ)
- ・怪我/病気治療のため 2件(久米島病院では対応が難しい)

定住率=

83.6%

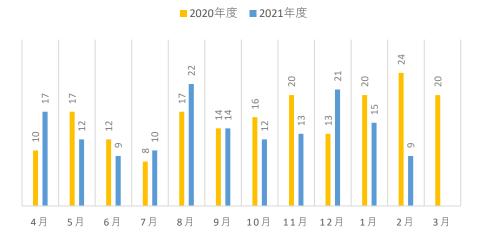
(2022年1月末現在)



現状分析



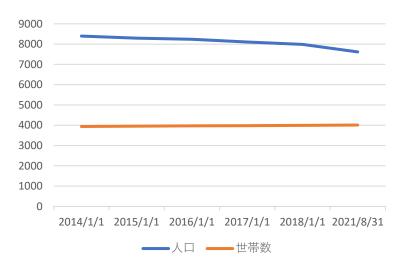
相談件数昨年との推移



・相談件数は昨年度と比べて大きな変化 はないもののコロナ以前と比較すると 移住を検討しだした層が増加傾向。

- ・相談者の来島したことが無い層が増加
- ・相談内容に移住に補助の有無が増加
- ・直ぐに移住したいとの相談増加
- ・心のケアについての質問が増加

久米島の人口と世帯数の推移



- ・人口は減少傾向だが、世帯数は横ばい 若しくは微増(減少の年がない)
- ・減少傾向にあるのは15才から44才の層 (社会減) 65才以上の層は増加(自然増)
- ・島内で新築アパート等はほぼ無く 常に住居を探している人がいる状況

見えてきた課題

暮らし



今後解決すれば、魅力的な久米島になるだろうと 思われる課題がどこにあるか考えてみると

- ■「充実した医療サービス」
- ■「充実した介護・福祉サービスがあること」

■移住して欲しいんでしょ

■コミュニティに溶け込めるか

■ネット環境

■移住の障害や不安

■労働環境の整備

⇒賃金、休暇、福利厚生

- →「長期的に安定した雇用」
- →「専門性・スキルを活かせ、成長できる仕事」

■町民との協業 ■空き家の活用

- →登記関係の問題で円滑に活用できない物件多数
- ■移住者の理想と現実のギャップ (何かをしたくて島に来たが…)
 - ■中心人物
- ■住宅不足
 - →人口は減ってるが世帯数は増えている
 - ⇒住まい探しの相談年間100件近く

■リモートワーカー系の受け入れ体制

■希望する住宅がない →老朽化、ペット、浴室、家賃

仕事

住まい

ご清聴ありがとうございましたM(___)M



令和3年度島ぐらしコンシェルジュー同